



いまは今
今
vol.135

発行 今井町並み保存会
発行日 平成23年9月1日
電話 0744-22-1128
http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp

◇ご意見・ご感想は
今井まちづくりセンターまで

第4回今井灯火会開催報告

8月6日(土)第4回今井灯火会が開催されました。今回のイベントについて、今井灯火会実行委員会事務局長の太田真司さんに総括していただきました。

「第4回今井灯火会を終えて」

8月6日の第4回今井灯火会も関係者の皆様のご協力のもと、大きな事故もなく無事終了できましたこと、御礼申し上げます。

準備段階から携わる者として、7月後半から8月6日当日まで一日ごとにならしていく作業に追われ、バタバタ走りまわるばかりで手ばかりも多かったのですが、暑い中、各持ち場で皆様の暖かい心づかいをいただき本当に助かりました。限られた予算の中の今井町住民による手作りの灯火会ということもあり、立て看板を自主的に作製して下さったり、小雨の降りだした中、家から持ってきたアルミホイルでキャップを作ってもらったそのカッ

に被せてもらったり、また風で消えたらうそくに何度も点火作業を繰り返されたりと、いろいろご苦労いただきましたが、自ら進んでしんど

い作業を受け持つ町民の皆様が目に見えて増えてきたことが、四回目を迎えたこの行事の大きな成果であると感じました。また、遠くから駆けつけて連日の夜なべの作業を助けてくれた若い学生さんたちの協力も忘れられず、ありがとうございます。

7500の火に込められた思いは先祖への感謝であったり、平和への願いであったり、今井町のために尽くされた先人に対する威徳の念であったりと、さまざまでしょうが、今年には特に3月の東日本大震災で被災され亡くなられた方々への鎮魂の心を込めた火が多くともされたことと思えます。同じ地域に住む人々のつながりの大切さや(絆と申すのでしゅうか)、心を一つにして集ま



外国からのお客さんも灯火会を楽しんでおられました



点灯式では多くの来賓が一斉に提灯に火をともしました

った力の大きさを、儂いながらも一本につながった力強く輝く、光の帯として目の当たりにし、あらためて命の関わり合いというものを考えさせられました。次回の灯火会においても、光の数を一灯でも多く増やすことで、町民同士のつながりをさらに深めて、今井の夏の風物詩を楽しめることを願っています。皆様本当にお疲れさまでした。(大村)

さらに今回はスタッフとしてご協力いただいた千葉大学の真柄翔多郎さんにも当日の感想をお聞きしています。

「そうだいまいへ帰ろう」

この言葉を、私は今年の灯火会の行灯に書かせて頂きました。

私が今井を訪れ、町並み散歩や灯火会のお手伝いをさせて頂き、今井のまちづくりを勉強

させて頂くようになって3年目になります。少しづつですが、今井の方々にも顔を覚えて頂いて、自分も今井を盛り上げる一人として参加させて頂いているのかなと実感しています。一時の興味関心ではなく、ただ通りますだけの町ではなく、いつ帰ってきてても町並みのあたたかさ、人のあたたかさを感じることで今井町。私にとって今井は「帰りたくなる場所」になっています。



真柄さんの書いた行灯です

全国町並みゼミ飛騨市大会

第34回 全国町並みゼミ
飛騨市大会2011年 9月30日(金)～10月2日(日)の3日間
つなごう 歴史の町づくり
—飛騨の歴史を伝えるために—

第34回全国町並みゼミが岐阜県飛騨市で9月30日(金)～10月2日(日)の3日間、「つなごう歴史のまちづくり—飛騨の匠の技と心を伝えよう—」をテーマに開催されます。飛騨市は平成16年に誕生し、南に高山市、西に白川村があり、岐阜県の中でも知名度は低く、高山市と混同されることも少なくありません。けれども、市内の古川町は朝のNHK連続ドラマ「さくら」のロケ地にもなり、城下町として発展した町並みは全国に知られるようになりました。

二日目に開催される分科会は次のとおりです。

▼第1分科会

「町並みをつくる匠文化の継承」

▼第2分科会

「点在する過去を偲ぶ建造物の保存と活用」

▼第3分科会

「農村の今までとこれから」

▼第4分科会

「町並みをつくる祭文化」

▼第5分科会

「市民参加の元気なまちづくりで、交流人口の増加」

▼第6分科会

「町づくりを次の世代へ」

※お問い合わせは今井町町並み保存会・まちづくりセンター(TEL22-11288)まで

夏のラジオ体操

今井の8月の風物詩ともなりました「早朝ラジオ体操」が順明寺境内と今井小学校校庭で行われました。

順明寺の境内では8月1日から15日まで開催されました。

三回目の開催となる今年は、昨年を上回る人数が集まり、ラジオの音声をあわせて体操を楽しみました。体操が終わると、本堂で副住職の多田大順さんによる講話がありました。多田さんのお話に子供たちも熱心に耳を傾けていました。



この日のお話は「みんなの願いとみ仏の願い」でした

21日から30日までは今井小学校PTA主催で今井小学校校庭と大日堂で開催されました。こちらはもう何十年も続いている「伝統

行事」のようなもので、毎日100人近い参加者が集まります。

毎朝、当番のかたが交代で準備をして子供たちと一緒に体操をしています。実はカードに押すハンコは「今井小学校オリジナル」のものなのだそうです(下の写真参照)。



またこの行事には、夏休み終盤に早朝の体操をすることで長期休暇中に乱れた生活リズムを元に戻すという意味もあるそうで、できるだけ多くの子供たちに参加してもらえようといういろと工夫をされているそうです。

来年は皆さんも一緒に参加しませんか？

訂正とお詫び

前号(134号)に掲載した「続・今井町団体紹介」の記事におきまして、杉村嘉國氏の肩書きを誤って「団長」としてしまいました。が、正しくは「分団長」でした。関係各位にご迷惑をおかけしたことをお詫びし、ここに訂正いたします。

編集後記

「今井灯火会」も無事におわり、年ごとに広がりや盛り上がりを感じられるようになってきました。ありがたいですね。これから秋のシーズンをむかえ、多くの来町者の方々もお見えになります。

どんな時にも、ひとりひとりの思いの中に「おもてなしの心」を大切にして、その輪を広げていきたいものです。

みんなの喜ぶお顔が見られますように……。